



学校だより 2月号

令和6年1月31日発行

ふるさとに学び ふるさとで遊び ふるさとを愛する子 ~ふれあいかがやき豊かな心~

「今年度もわずか・・・。さあ、今日からなにをしますか」

副校長 土井 茂





今年の冬は、暖冬といわれていますが、このところ寒い日が続き、朝方には氷点下になる日もあります。登校時に南門近くのプールの水に氷が張っていて、その上を小鳥が歩きまわっているのを子どもたちがみつけ、「鳥が、水の上を歩いている」と、大騒ぎしていました。そんな中ですが、学校にある桜の木などには蕾が目立ち始めて春の訪れを感じさせてくれます。そして、正門の梅の花はだいぶ咲いてきました。「一月往ぬる二月逃げる三月去る」といいますが、一月から三月までは行事が多くて忙しく、早く過ぎてしまうことを月の頭文字に掛けて「往ぬる」「逃げる」「去る」と調子よく表現したことわざです。あっという間に一月は行ってしまう、二月は逃げてしまう、三月は去ってしまう、ということのたとえです。過ぎゆく時の速さはいつも同じなのですが、気分的に一月から三月まではあっという間に過ぎ去ってしまう気がします。

師が走るほど、せわしなくなるといわれている | 2月ですが、師走には本当に足早になるのか。腕に巻き付けて歩数などを測定する活動量計を使ってある企業が、月別の早歩き率を分析しました。 | 万人強を対象に20|6年度から3年間のデータを調べたところ、最も速く歩いていたのは、いずれも2月だったそうです。次いで足早だったのは | 月。 | 2月は、3月と3位争いをする水準でした。旧暦だと師走は、いまの暦でいえば | 2月下旬から2月半ばの間。調査した担当者は「寒くなると早く家に着きたくなるのか、急ぎ足になります。逆に、暑い時期には歩く速度は落ちます。気温と歩く速さには相関関係があることがわかりました」と話しています。今年の歩く速度は、どんなものでしょうか。

さて、逃げる二月です。今年度のまとめをするのもあとわずかです。卒業を迎えた6年生にとっては、小学校6年間の締めくくりに入ります。本校で取り組んでいる「KFT(かもの子ふれあいタイム)の活動」や「6年生を送る会」などでは、お世話になった6年生への感謝の気持ちを表したり、最高学年としての姿勢を在校生に示したりなど、一年間の締めくくりにふさわしい活動が計画され、それぞれで準備が進んでいます。さあ、来年度に向けて今日からなにをしますか。見通しをもって行動できるといいですね。

2月7日に新入生の入学説明会を行います。 I 月末現在、次年度の I 年生は 5 I 名の予定です。今後児童数は減少の傾向にはありますが、子どもたちへの取り組みは、学校規模にかかわらず、真摯に誠実に行っていきます。目の前の子どもたちと向き合い、次年度への 0 学期である今の時期を大切にしていきたいと考えています。私たち教職員も今年度のまとめに向け、また来年度を見据え、力を合わせて取り組んでいます。子どもたちの心や学びをつなげ、育んでいくには、保護者の皆様、地域の皆様との連携・協力が不可欠です。今月も変わらぬご支援・ご協力をよろしくおねがいします。